

地域健康かるて 榎島包括圏域

【人口】16,015人【高齢化率】25.83%（市全体：30.63%）

市内で最も生産年齢人口割合が高く、高齢化率が低いエリア

<出典>

- 住民基本台帳（令和8年4月1日現在）
- 住民の健康改善に資するエビデンス創出を目指す多地域コホート研究（LIFE Study）2025年度報告書（令和6年度データ）

【小学校区】榎島・北榎島

主なエリア

榎島町（大町・一町田・菌場・外・郡・月夜・吹前・石橋・大幡・中川原・北内・門口・一ノ坪・五才田・島前・幡貫・十一・大川原・二十四・本屋敷・千足・落合・目川・三十五・十六・清水・南落合・十八）
小倉町（春日森・新田島）



宇治市の北西端、宇治川左岸にある北は京都市伏見区向島、西は久世郡久御山町市田に接する。
榎島、北榎島の2つの小学校区で構成されており、比較的平坦な地形で、徒歩での移動がしやすい地域となっている一方で、公共交通機関がなく、移動手段が限られている。圏域には、救急救命と災害拠点病院等を担う総合病院があるが、そのほかの医療機関が少ないエリアである。

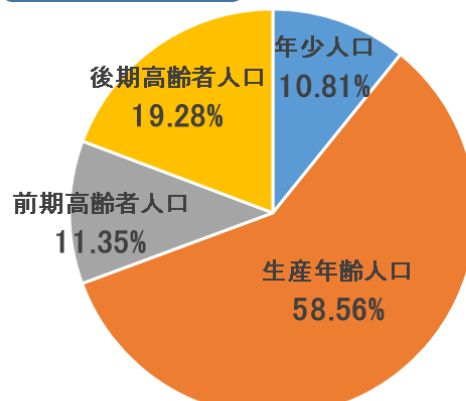
※国民健康保険、後期高齢者医療情報は令和7年9月時点であるため
1人当たり年間医療費、健診受診率等は公表値と異なります

人口

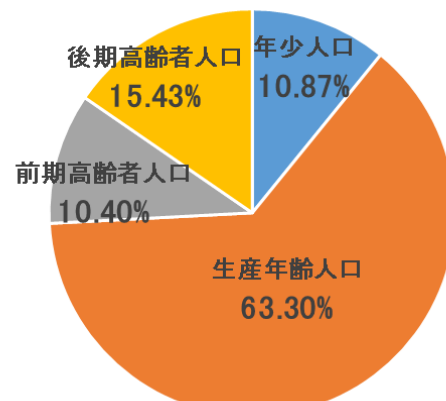
	総人口	年少人口	生産年齢人口	高齢者人口 (65歳以上)	(再掲)	
					前期高齢者人口 (65~74歳)	後期高齢者人口 (75歳以上)
宇治市	177,742	19,217	104,088	54,437	20,167	34,270
榎島包括圏域	16,015	1,741	10,138	4,136	1,665	2,471

令和8年4月1日時点

人口割合



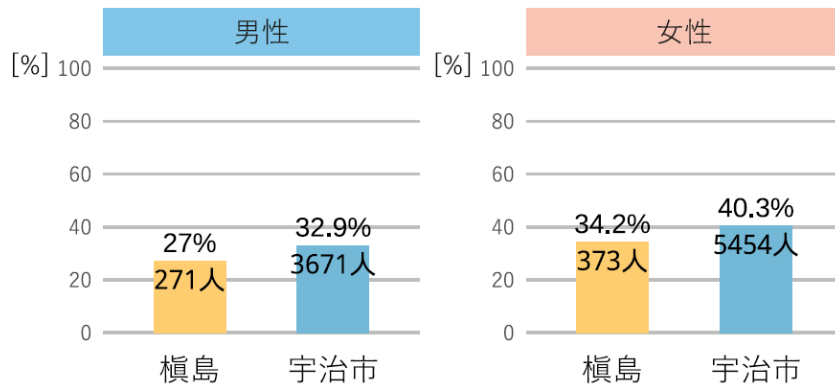
宇治市



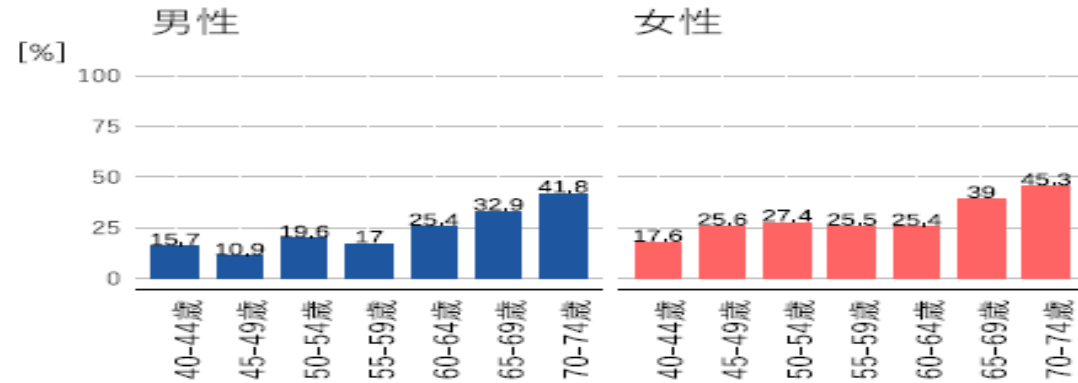
榎島包括圏域

国民健康保険 特定健康診査 令和6年度

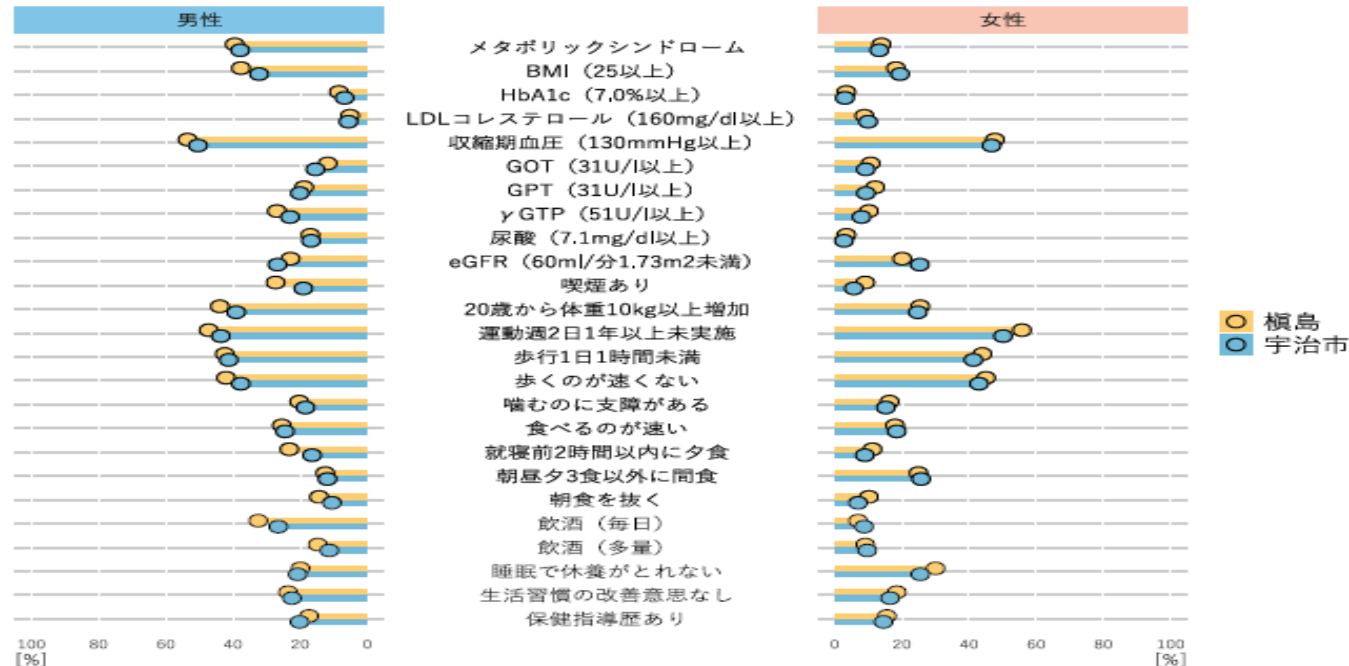
健診受診者数と受診率



年齢別の健診受診率(榎島)



健康と生活習慣の状況



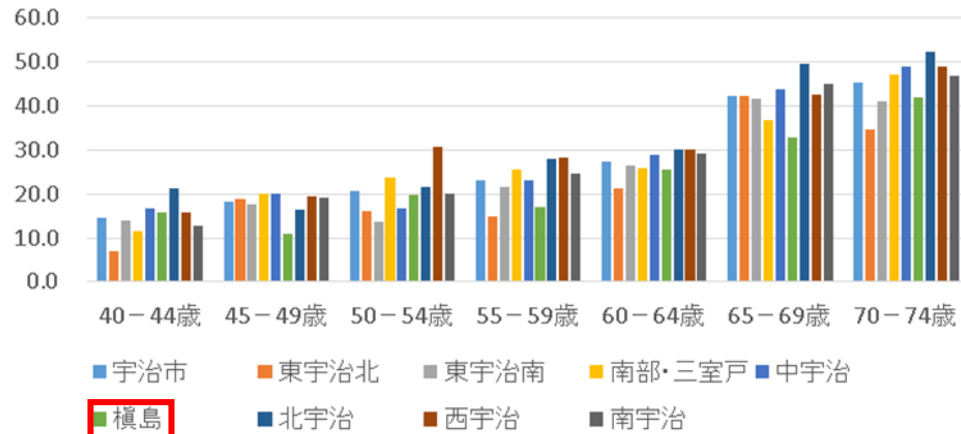
・特定健康診査受診状況は、男女ともに市の平均よりも低い。

・特定健診結果では、男性では『喫煙あり, 就寝前2 時間以内に夕食, 飲酒 (毎日)』の割合が市の平均よりも高く、女性では「運動週2 日1 年以上未実施, 睡眠で休養がとれない, 喫煙あり」の割合が高くなっている。

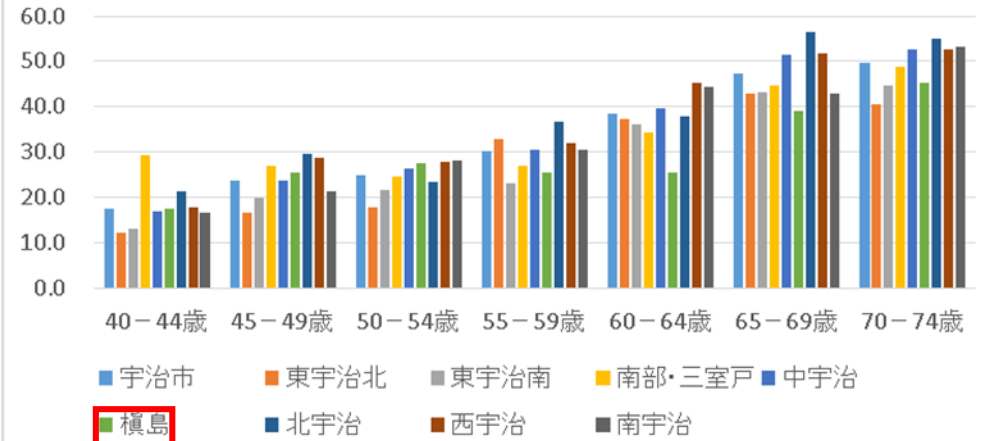
* 健診の標準的な質問票を元に作成しています。

国民健康保険 特定健康診査 令和6年度

特定健診年齢別受診率(男性)
令和6年度



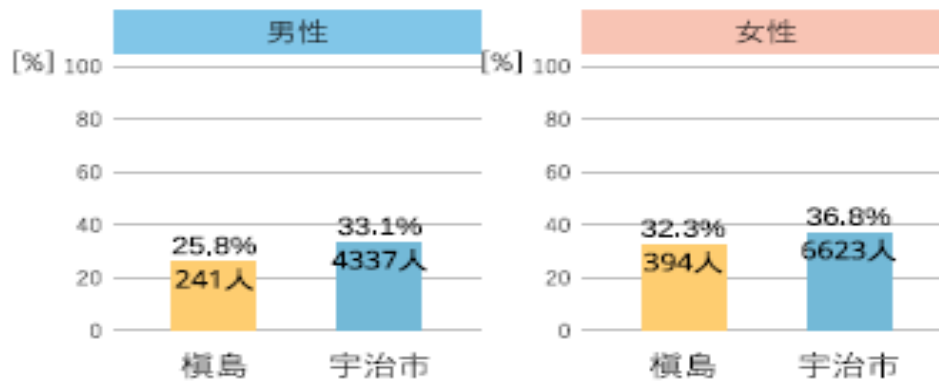
特定健診年齢別受診率(女性)
令和6年度



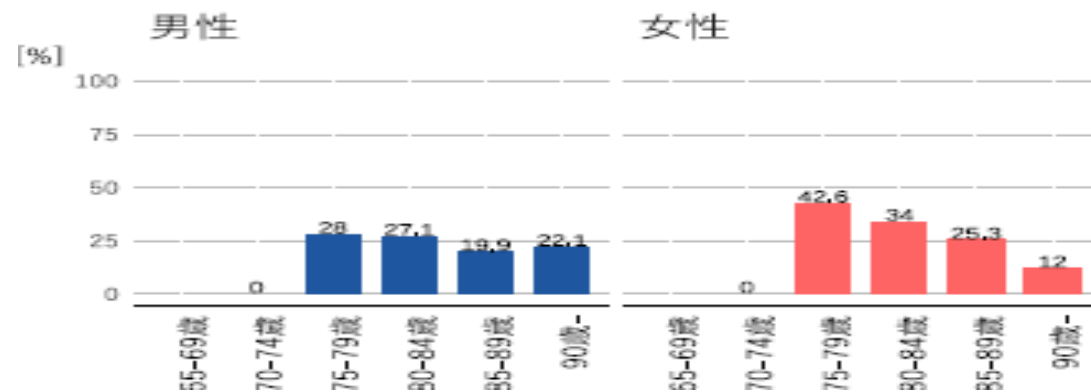
特定健康診査受診率を年代別に見ると、男性では『45歳～49歳』以降で市全体より低くなっている。女性は『55歳～59歳』以降市全体より低くなっている。

後期高齢者医療 健康診査 令和6年度

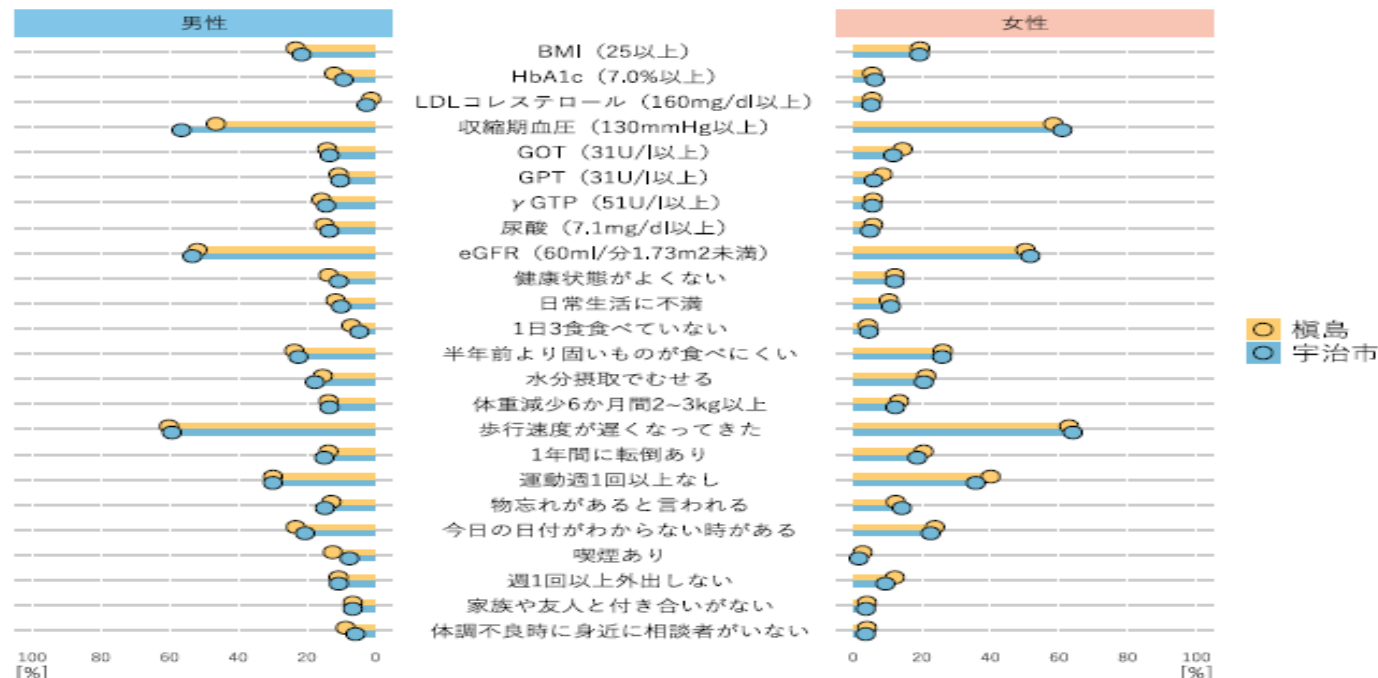
健診受診者数と受診率



年齢別の健診受診率(横浜)



健康と生活習慣の状況

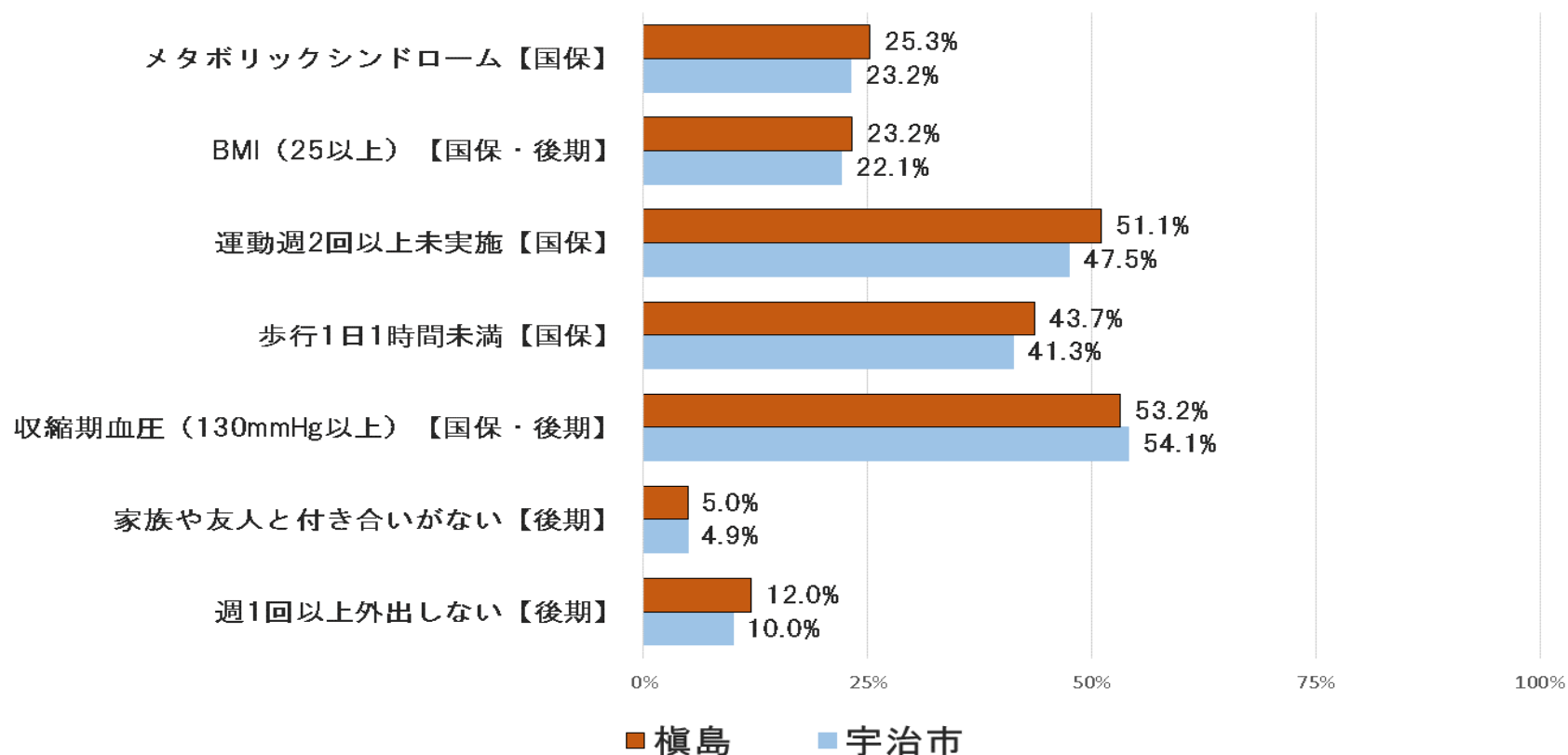


・後期高齢者医療制度健康診査の受診状況は特定健康診査同様、男女ともに市の平均よりも低くなっている。

・健康診査結果は、男性では『喫煙あり、健康状態がよくない、体調不良時に身近に相談者がいない』が市の平均より高くなっており、女性では『運動週1回以上なし、GOT (31U/l以上)、週1回以上外出しない』が高くなっている。

国民健康保険 特定健康診査/後期高齢者医療 健康診査 令和6年度

健康と生活習慣の状況（年齢調整該当率）

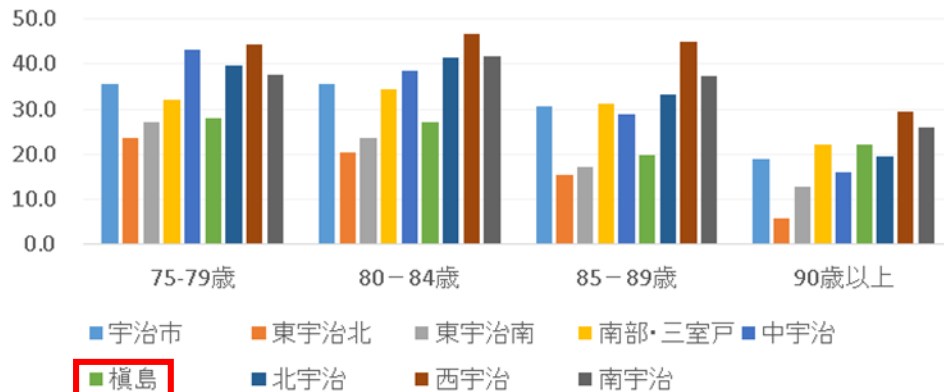


・宇治市全体と比較し『メタボリックシンドローム， BMI（25以上）， 運動週2回以上未実施， 歩行1日1時間未満、家族や友人と付き合いがない』の割合が高くなっている。

後期高齢者医療 健康診査 令和6年度

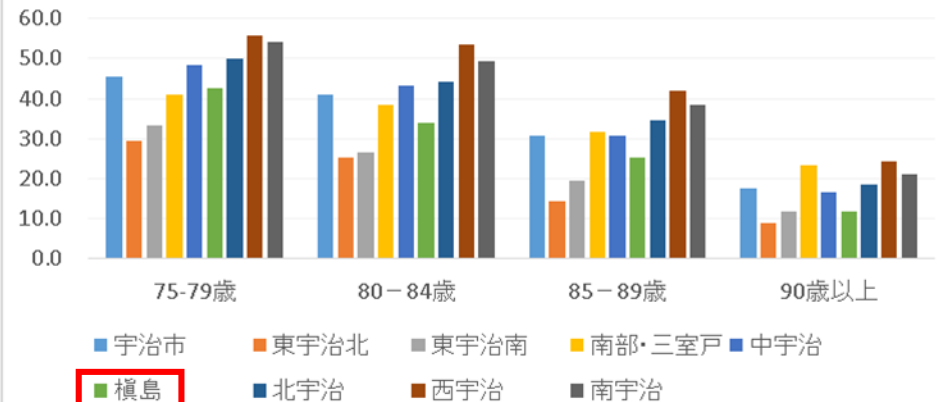
特定健診年齢別受診率(男性)

令和6年度



特定健診年齢別受診率(女性)

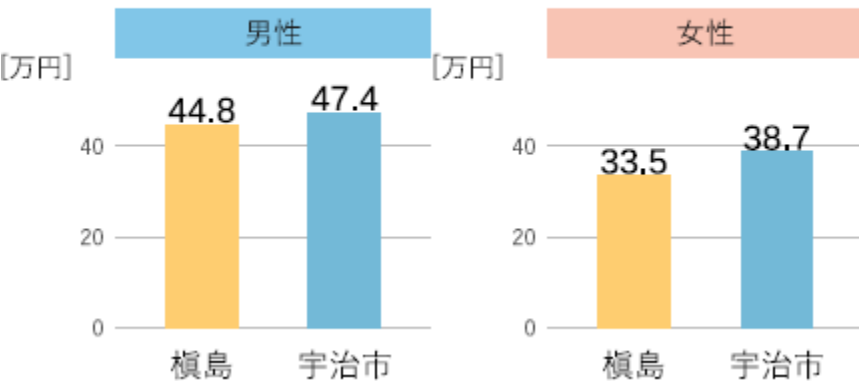
令和6年度



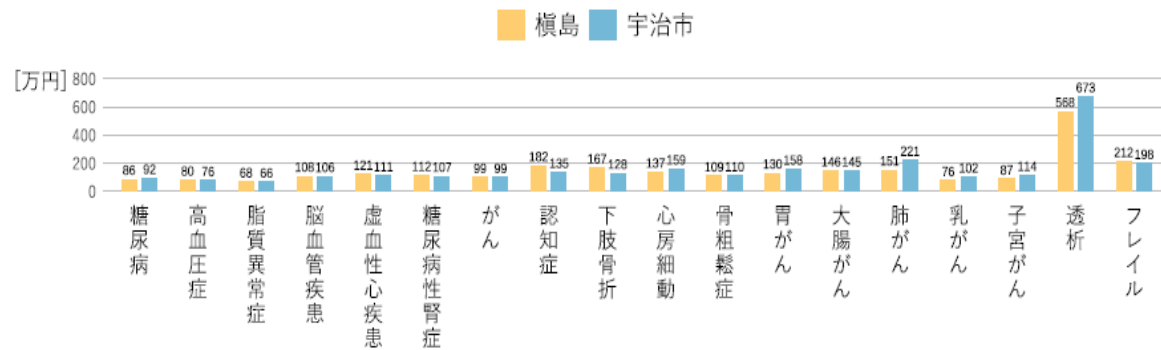
・健康診査年齢別受診率を年代別に見ると、男性の90歳以上を除き、すべての年代で男女ともに市全体より受診率が低い状況である。

国民健康保険 医療費データ 令和6年度

1人当たり年間医療費

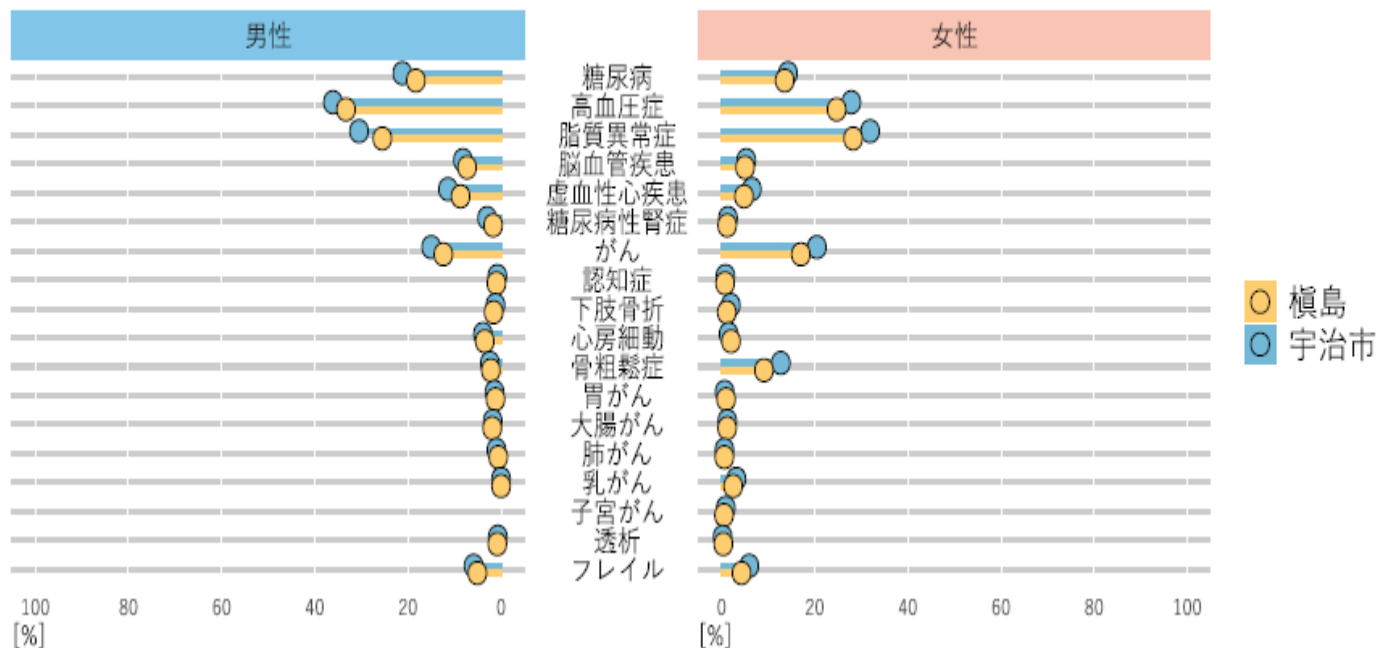


疾患別の1人当たり年間医療費



* 1人で複数の疾患を有していることがあります。

疾患別の有病割合



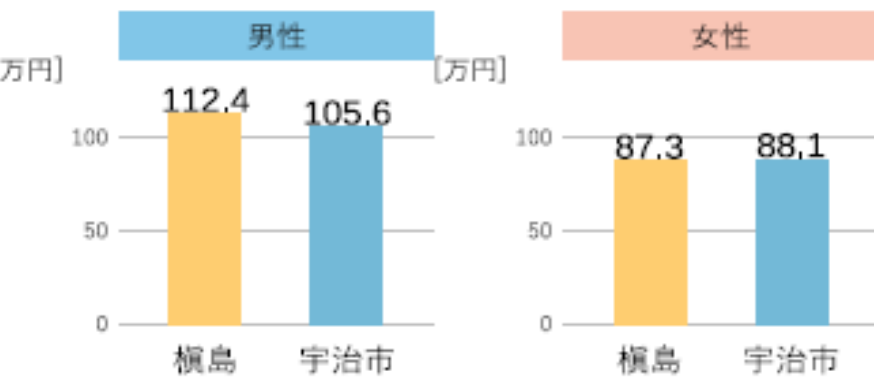
・国民健康保険の加入者の1人当たり年間医療費は、男女ともに市の平均よりも低くなっている。

・1人当たり年間医療費では、『認知症、下肢骨折、フレイル』で市の平均を上回っている。

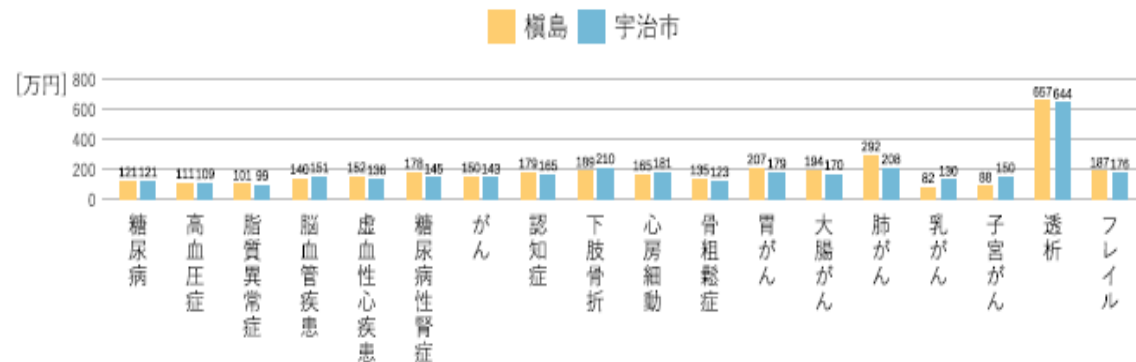
・疾患別の有病割合は、男性では『下肢骨折、認知症、大腸がん』で市の平均を上回っており、女性では『心房細動、胃がん、透析』が上回っている。

後期高齢者医療 医療費データ 令和6年度

1人当たり年間医療費

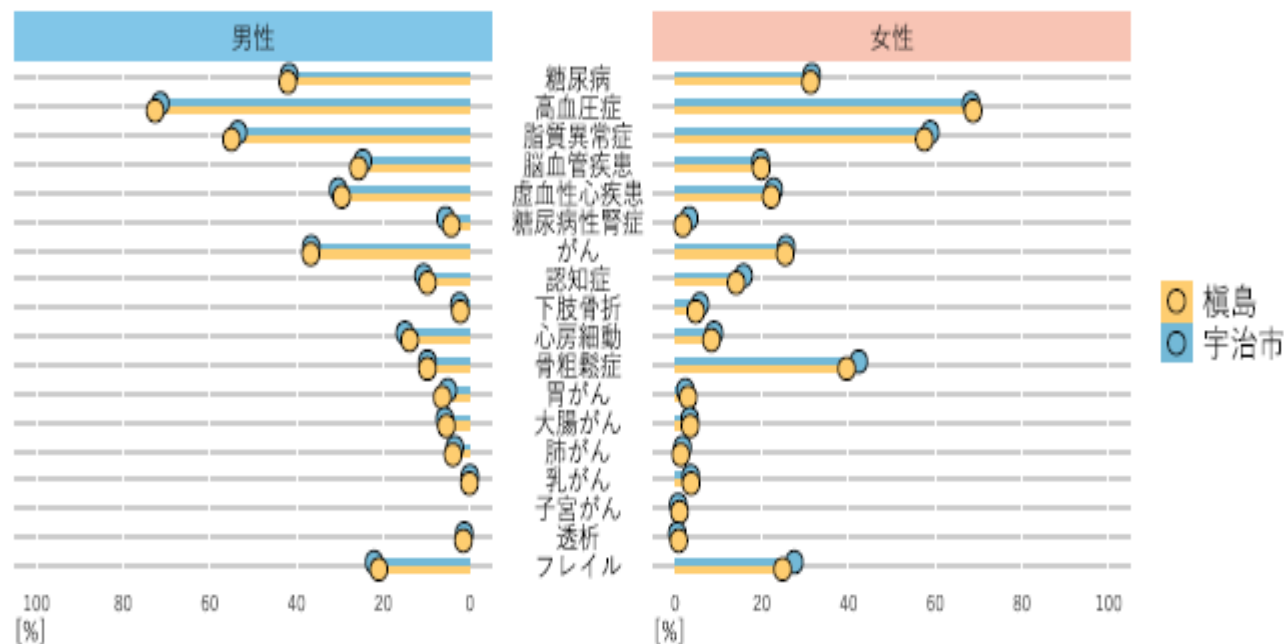


疾患別の1人当たり年間医療費



* 1人で複数の疾患を有していることがあります。

疾患別の有病割合



・後期高齢者医療の1人当たり年間医療費は、男性は市の平均より高く、女性は低くなっている。

1人当たり年間医療費では、『肺がん、糖尿病性腎症、胃がん』で市の平均を上回っている。

・疾患別の有病率は、男性では『脂質異常症、胃がん、高血圧症』で市の平均を上回っており、女性では『胃がん、高血圧症、透析』で上回っている。